

新たな年度を迎え、転勤や異動など皆様にはお忙しい日々が続いていることと思います。
第2号の支部便りが出来ました。昨年度の研修報告と今年度の総会をお知らせいたします。

北海道支部研修会を開催しました

- ・日 時 平成29年12月3日(日) 12:30~15:30
- ・場 所 TKP 札幌ビジネスセンター赤れんが前(毎日札幌会館5階すずらん)
- ・内 容 講演「子育て支援と地域コミュニティ~イギリスのシュア・スタートに学ぶ」
東洋大学文学部 教育学科 教授 矢口 悦子 氏

実践報告

「子育て世代包括支援センターの活動」

苫小牧市 健康子ども部健康支援課 主査 草賀 泰代 氏

矢口教授からは、イギリスの複合型地域子育て支援事業(シュア・スタート)を通して、地域コミュニティづくりと保健師の役割についてご講演いただきました。

イギリス各地の取組をご紹介くださり、その上で「子育てしやすい地域 = 大人にも生きやすい地域 = 高齢者が誇りをもって終活できる地域」というように、一部の支援に留まらず、様々な対象者が享受できることの重要性やシステムの在り方についてご教授いただきました。

現代の地域コミュニティづくりには、多様な職種が参画しているが、地域の実態に応じ、連携する相手を見定めてデザインできるのが保健師である。まさに保健師は、コミュニティの『紐帯』としての役割を持っているのだと熱いエールをいただきました。

実践報告は、平成28年4月に開設された「苫小牧市子育て世代包括支援センター」の活動を通じて、苫小牧市の母子保健サービスについて報告いただきました。切れ目ないサービス提供から円滑な継続支援を行うとともに、子育て支援情報を可視化することで市民も育児の見通しを持つことができる。定期的に関係機関との連携会議により情報共有を図ることで、よりよい支援提供につながっていくと話されていました。

当日は、冬の悪路にもかかわらず40名以上の参加をいただきました。

アンケートでは「地域の状況をしっかり把握して、組織的に取り組んでいく公衆衛生の動きを改めて考えました。」「教育や社会学の領域からお話をうかがえ、視野の広がりにつながりました。」「健康格差、子どもの貧困、生活困窮者支援、若者サポート等を一体的に取り組むことの効果を考えさせられました。」「他分野の専門家からみた保健師についてお話いただいたことが参考になりました。」「業務を“みせる”ことが必要であると実感しました。」「保健師として、そして自組織が何をすべきか考えなければならぬと感じました。」「国政により弱者支援、子育て支援も変わる。保健師は国政に振り回されないようぶれない一核を持ち続けていたい。」など、自身の保健師活動や業務を振り返る機会になったとの感想・意見を多くいただきました。



全国保健師長会代議員総会に参加してきました！

平成29年度の代議員総会は、全国から143名の代議員が参集し、11月18日（金）に新潟県新潟市において開催されました。北海道支部からは、合田支部長、佐藤委員、高取会員、田村会員の4名が参加しました。12月の支部総会では、田村会員から報告いただきましたが、全国保健師長会のホームページに議事録が掲載されていますのでご覧ください。

なお、平成30年度の開催地は、愛知県名古屋市です。参加を希望される方からのご連絡をお待ちしております。

【第39回全国保健師長会代議員総会】

○会長挨拶・来賓祝辞

○基調講演 「みる」「つなぐ」「動かす」公衆衛生看護活動をめざす
～今の時代に求められる保健活動の可視化とは～

講師 北海道大学大学院保健科学研修院 教授 佐伯和子 氏



○シンポジウム

①県保健所の立場から 長野県健康福祉部健康増進課 副参事兼課長補佐 田中ゆう子 氏

②政令指定都市の立場から 新潟市西蒲区役所健康福祉課健康増進係 係長 川崎恭子 氏

③市町村の立場から 新潟県見附市健康福祉課健診予防係 主査 更科いづみ 氏

○総会議事

議案（第1号～第9号）審議及び報告事項

役員改選及び結果報告

◇参加会員の感想◇

今年度は新潟県新潟市、全国保健師長会・青柳会長のお膝元での開催です。総会に先立ち、新潟市長のご挨拶があり、新潟市の健康課題をデータのまとめや食生活の傾向と併せて具体的に伝えられ、市民が健康を我が事として考えられるまちづくりを目指していることが紹介されました。全国各地の保健師の熱気とともに熱い幕開けとなりました。

総会では、保健師活動の社会的認知度や国民からの認知はどこまでされているのか、保健師の活動は見えにくく、伝わりづらい。可視化しないと、必要な時に活用してもらえない等が基調講演・シンポジウムで話題となりました。

保健師活動の可視化のためには活動を評価し成果を発信することが必要であり、改めてPDCAをまわしていくことの重要性を確認する時間となりました。

佐伯先生は「可視化とは必要なことを必要だとわかってもらえることにつながる」と話されました。冒頭の新潟市長の挨拶を振り返ると、新潟市の保健師活動は可視化されているのだろうと感じているところです。

前日の夜に新潟のおいしい日本酒を堪能、お土産に元祖柿の種を購入、吹雪の中プロペラ機で新潟空港をあとにしました。 空知総合振興局保健環境部深川地域保健室 佐藤一美

お知らせ

【平成30年度北海道支部総会】

日時 H30年5月26日（土）13時30分～

場所 かでる2・7

【会員数】

平成30年3月末現在

106名（市町村24名・道82名）

【意見、ご要望、お問い合わせ】

・十勝総合振興局保健環境部保健行政室

合田支部長 電話 0155-26-9082

・空知総合振興局保健環境部深川地域保健室

佐藤書記 電話 0164-22-1421